

「令和3年度 埼玉県荻野吟子賞」大賞(個人・団体部門)受賞者 佐藤麻里子さんにお話を伺いました。

日常にそっと寄り添う 優しいお酒を造りたい

佐藤 麻里子 (有限会社佐藤酒造店社氏)

SATO MARIKO

さとうまりこ

大学在学中に、影の国造り学校で造酒の基礎を学び、平成27年に実家である有限会社佐藤酒造店に入社。造酒は男性が行うものという考えが強い酒造業界において、県内初の女性社氏となり、現在は造酒の責任者として職人を率いる。2019年・2020年には全国醸造コンテストで金賞を受賞。女性や若い世代のニーズに応える造酒に取り組み、銘酒「越生梅林」を守りながらも、自ら新商品の開発やデザインも手掛ける。(越生町在住)



- 朝起きてまずすること——散歩
●好きな食べ物——肉
●好きな映画・本——「トワイライト」
●リラックスタイム——ドライブ・カメラ
●尊敬する人——両親
●5年後の私——日本酒業界を盛り上げ、次の世代に引き継いでいけるような存在になる

「正解」がないことが楽しい

高校生の時から実家の直売店で接客をしてお客様とお話をしたり、「おいしいね」という声をかけていただけたことが嬉しかった。それで徐々にお酒の中身にも興味を持つようになり、せっかくだらたら一から携わったお酒を飲んでいただきたいなと思うようになりました。父である社長も造酒をしてみたら、と私に任せてくれたんです。すごく緊張しましたが、やらせてもらえたことがとても嬉しく楽しかったです。

私は社氏になって8年目ですが、毎年が勉強です。伝統のある技術をたくさん経験し、積み重ねていくことが大切だと思っています。お酒で毎回同じように造っているはずなのですが、毎回表情が違います。その数時間後でも様子が全く違うのです。麹は生き物なので少しでも管理を怠ると出来上がったときのお酒に影響が出てしまうためこまめに様子を見なければならぬのですが、目に見えて表情が変わっていく、その変化が楽しいです。原料となるお米も毎年気候が違うので、お酒の造り方をその都度変えなければなりません。お酒と酒粕に分ける作業をしてからでないとどんなお酒になるかわからない。そして、万人のお口に合うということとはなかなか難しい。造酒には答えがないし、正解というものもない。そこが大変な部分でもあるのですが、答えのないところにお酒の奥深さを感じ、魅了されました。

酒蔵は女人禁制というのがごく最近まであり、蔵によってはまだ女性が入れないところもあります。そういった意味では、両親や祖父母、蔵人たちの考えがとても柔軟だったのだと思います。だからこそ私はすんなり蔵に入り、お手伝いやお酒造りができ、今の私があります。働きやすい環境を作ってくれている両親や祖父母、蔵人たちの存在は本当にありがたいです。

伝統と革新の両立に努めたい

私はお客様と接することを大切にしている、イベントを行う時でもできるだけその場に出向き、少しでもお客様とお話できる時間を作っています。お客様とお話し、これからの造酒のヒントをいただくことはもちろんですが、直接生の声をお聞きできるというのはすごく勉強になります。

私自身、日本酒は大好きですが、たくさん量を飲むわけではありません。そういう人たちがお酒を選ぶ基準ってなんだろう?と考えたときに、まずはパッケージ(見た目)のデザインだと思いました。入社してまずは商品のパッケージから変えていきたいと思い、社長に相談をしたところ「せっかくだ蔵も新しくしたのだから、若い蔵人たちと一緒に自分たちの感性でやってみなさい。」と、賛成してくれました。海外からのお客様も増えてきているので、OGOSE BAIRINと英字表記も取り入れました。パッケージデザインに力を入れたことで「日本酒メーカーとしてはスタイリッシュだね」とか「斬新的なデザインだね」と言ってもらえるようになりました。昔から「清酒 越生梅林」をご愛飲頂いているたくさんのお客様がいらっしゃる中で、昔ながらの伝統を守りつつ、日本酒初心者や女性が飲みやすいような味わいの造酒にも力をいれています。伝統と革新の両立に努め、幅広い世代のお客様に愛される造酒をこれからもしていきたいと思っています。

創業当初より、「ふくらみがあり、後味の軽い酒」をモットーとしていますが、料理の邪魔をしないお酒を目指しつつ喜怒哀楽の場面にそっと寄り添えるような優しいお酒を醸造していきたいです。

「埼玉に清酒 越生梅林あり」といわれ、これからもシェアを広げていき、全国でそして海外でも「埼玉に「越生梅林」ってお酒あるよね!」と言ってもらえるようになりたいなと思っています。

令和4年度 埼玉県荻野吟子賞 候補者募集

本県出身で日本初の公認女性医師である「荻野吟子」にちなみ、男女共同参画の推進に顕著な功績のあった個人や団体、事業所を表彰します。

1 個人・団体部門(大賞・奨励賞)

先駆的な活動などにより各分野で特に功績が著しく、今後の活躍が期待できる以下の個人又は団体
・県内に在住(働・学)又は県出身の個人
・県内に所在する団体

募集方法

(1)個人・団体部門
市町村、団体又は県民の推薦により、推薦書に必要事項を記入の上、応募してください。(推薦書による情報提供も可)
(2)いきいき職場部門
市町村、団体、事業所、県民又は埼玉県地域振興センター所長(事務所長を含む)の推薦により、推薦書に必要事項を記入の上、応募してください(自薦も可)

2 いきいき職場部門(いきいき職場部門賞)

県内に所在し、女性の能力活用、男女の職域拡大又は仕事と子育て、家庭生活との両立支援など男女が共同して参画することができる職場づくりに積極的に取り組んでいる事業所

募集期間

令和4年7月15日(金)~9月30日(金)

問合せ

埼玉県県民生活部 TEL 048-830-2921
人権・男女共同参画課 FAX 048-830-4755

With You さいたま からのお知らせ

イベントカレンダー 2022年

イベントの日時や内容は変更になる場合がございますので、予めご了承ください。一部、講演会は動画配信も行います。詳しい内容はWith You さいたまホームページをご覧ください。

8月 22(土) 22(土) 性暴力防止セミナー(さいたま市との共催事業) 多様性を考える男女共同参画講演会 おとなの性教育
講師: 村瀬幸浩さん(元一橋大学講師・日本思春期学会名誉会員) 塩野美里さん(「#みんなの生理」副代表)
11月 11(日) DV防止フォーラム 「女性に対する暴力をなくす運動」の期間にあわせ、DV防止啓発のため開催します

通年 生き方セミナー 8月~3月(8回) 13:15~14:45 グループ相談会 8月~3月(8回) 15:00~16:30
不安を解消し、最適な生き方を選択できるような基本的な知識を提供するセミナーです。月1回程度、土曜日または平日に開催します。
※日程やテーマなどの詳細はホームページでご確認ください。

「埼玉県男女共同参画基本計画」(令和4年度~令和8年度) を策定しました!
本計画は埼玉県男女共同参画推進条例に基づき策定した、本県の男女共同参画の推進に関する基本的な計画です。計画の目標は「男女共同参画社会の実現~人権が尊重され、誰もが活躍できる埼玉へ~」です。また、この計画は「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」に基づく、県における施策についての計画としても位置付けられます。県ホームページに掲載しておりますのでぜひ御覧ください。

「配偶者等からの暴力防止及び被害者支援基本計画(第5次)」(令和4年度~令和8年度) を策定しました!
本計画は、「配偶者からの暴力防止及び被害者の保護に関する法律」に基づき策定した、本県のドメスティック・バイオレンス(DV)に関する施策の総合的な計画です。計画の目標は、「配偶者等からの暴力を許さない社会の実現」です。県ホームページに掲載しておりますのでぜひ御覧ください。

講座やイベントの申込み方法

市町村、男女共同参画関連施設、図書館、公的施設などに開催日の約1か月前からチラシが配布される他、With You さいたまホームページにも掲載します。

保育サービスを実施しています 予約制

With You さいたま主催の講座への参加や面談などの際に、6か月から未就学のお子様(講座・イベントにより小学3年生まで)の保育サービスを実施しています。
▶保育料 お子様1名につき300円

With You さいたま 埼玉県男女共同参画推進センター

〒330-0081 さいたま市中央区新都心2-2
TEL 048-601-3111 FAX 048-600-3802
https://www.pref.saitama.lg.jp/withyou/

開館時間 月曜~土曜/9:30~21:00 日曜・祝日/9:30~17:30 休館日/年末年始、第3木曜日
貸出施設のご利用時間 午前/9:30~12:00 午後/13:00~17:00 夜間/18:00~21:00
※利用時間には、準備及び後片づけの時間も含まれます

With You さいたま相談

電話相談 TEL 048-600-3800 受付時間 月曜~土曜/10:00~20:30 (年末年始、祝日、第3木曜日を除く)

埼玉県女性キャリアセンター

電話相談 TEL 048-601-1023 受付時間 月曜~金曜/10:00~11:30 12:30~16:30

面談相談 予約 TEL 048-601-5810

受付時間 月曜~土曜/9:30~17:30 (年末年始、祝日、第3木曜日を除く)

●ハローワーク求人情報の提供

求人情報の検索 月曜~土曜/9:30~17:30 求人情報の紹介 月曜~土曜/10:00~17:00



With You さいたま ホテルプリンス徳武蔵野3・4F さいたま新都心駅から徒歩5分 北与野駅から徒歩6分



With You さいたま 7月号 2022 July



CONTENTS
05 Women 現代の吟子たちに聞く 有限会社 佐藤酒造店社氏 佐藤麻里子さん
06 令和4年度 埼玉県荻野吟子賞候補者募集
06 With You さいたまイベントカレンダー
06 「埼玉県男女共同参画基本計画」(令和4年度~8年度)策定
06 「配偶者等からの暴力防止及び被害者支援基本計画(第5次)」(令和4年度~8年度)策定

20周年 特集 Special Feature P.2-4

[With You さいたま]は、埼玉県の男女共同参画社会づくりのための総合拠点施設です。



埼玉県男女共同参画推進センター(愛称:With You さいたま)は、男女共同参画社会づくりの総合拠点として、平成14年4月21日に開設し、今年で20年を迎えました。開設以来、県民の皆様のニーズにお応えする様々な事業を展開しています。

With You さいたまでは、6つの柱を中心とした様々な取組をしています

| | | | | | |
|---|---|---|---|--|--|
| <p>講座・研修 「学びたい」</p> <p>男女共同参画への理解を深める講座・イベントの開催</p> | <p>相談 「自分自身のことを考えたい」</p> <p>人間関係、家族、夫婦、DVなどの悩みに対応</p> | <p>女性チャレンジ支援 「働きたい」「自立したい」</p> <p>女性の就業・自立を支援</p> | <p>自主活動・交流支援 「出会いたい」「つながりたい」</p> <p>活動の支援や発表の場の提供</p> | <p>情報収集・提供 「知りたい」</p> <p>ライブラリーやホームページ・SNSを通じての情報収集・提供</p> | <p>調査・研究 「調べて生かす」</p> <p>男女共同参画を実現するための調査・研究</p> |
|---|---|---|---|--|--|

With You さいたま 20年の歩み

行動計画

埼玉県男女共同参画推進センター 2010

第1次 配偶者等からの暴力防止及び被害者支援基本計画

第2次 埼玉県男女共同参画推進センター

- 2002年(H14)
 - With You さいたま(埼玉県男女共同参画推進センター)開設(4月21日)
 - サポートスタッフ活動開始
 - オープニングイベント開催
 - DV防止フォーラム開始
- 2003年(H15)
 - 「男女共同参画フォーラムinさいたま」開催
 - グループ相談会開始(相談事業)
 - 情報ライブラリー通信「Bookmark」発行開始
- 2004年(H16)
 - 女性チャレンジ支援事業開始
 - With You さいたまフェスティバル開始
- 2006年(H18)
 - 男女共同参画講演会開始(H20から「男女共同参画週間講演会」)
- 2007年(H19)
 - 全国女性会館協議会 第51回全国大会事業開催
- 2008年(H20)
 - 女性キャリアセンター開設
- 2009年(H21)
 - 経済的に困難な状況にある女性対象事業開始(女性チャレンジ支援事業)
- 2010年(H22)
 - 若年無業女性対象事業開始(グループ相談会)
- 2011年(H23)
 - さいたまスーパーアリーナ避難者への支援
 - 東日本大震災被災者交流会「さいがいっつながりカフェ」開始(実行委員会共催)
 - 生きづらさ、働きづらさに悩む女性対象働き方講座開始

男女共同参画推進学習フォーラム(NWEC共催)開催
大学との共催による公開講座開始
リーダーエンパワメント講座開催
広報紙「With You さいたま vol.1」発行



行動計画

埼玉県男女共同参画基本計画

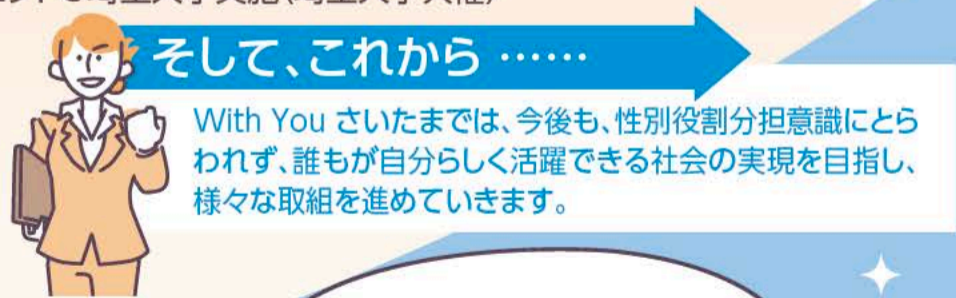
第3次 平成24年度～28年度 配偶者等からの暴力防止及び被害者支援基本計画

第4次 平成29年度～令和3年度

第5次 令和4年度～8年度

- 2012年(H24)
 - 配偶者暴力相談支援センターの機能を付加
 - With You さいたま創立10周年記念イベント開催
- 2013年(H25)
 - パープルリボンキャンペーン開始
 - 男性のための電話相談開始(年2回)
 - 埼玉男子の語り場「じわじわさいたま〜ず」開催
- 2014年(H26)
 - 男性のための電話相談の回数増(月1回)
 - 女性団体活動拠点としての提供事業開始
 - メンズプロジェクト開始
 - 防災に関する講座開始
 - 性暴力対策セミナー(さいたま市共催)開始
 - 障害と女性に関する講座開始
- 2015年(H27)
 - 「女性のための政策セミナー〜女性の声で地域を変えよう〜」開催
- 2016年(H28)
 - 女性リーダー養成講座開始(現、女性リーダー育成講座)
 - 若者のための男女共同参画ワールド・カフェ開始
- 2018年(H30)
 - 女性の貧困問題支援事業開始(生き方セミナー・グループ相談会他)
 - 離婚を迷う女性のための法律セミナー&相談会開始(埼玉弁護士会共催)
- 2020年(R2)
 - Facebook開設
- 2021年(R3)
 - 多様性を考える男女共同参画講演会開催
 - ユース×ジェンダープロジェクト@埼玉大学実施(埼玉大学共催)
- 2022年(R4)
 - 男性のための電話相談の回数増(月2回)
 - With You さいたま 20周年イベント開催

そして、これから……
With You さいたまでは、今後も、性別役割分担意識にとらわれず、誰もが自分らしく活躍できる社会の実現を目指し、様々な取組を進めていきます。



応援メッセージ



ライブラリーは、ワクワクする本も沢山ありますね!気持ち引き締まる本もお世話になってます!

20周年おめでとうございます!地域の女性リーダー養成で男女平等の実現を!!

男女共同参画、男女平等、そして人としての在り方を考え、深めることができました。

この場所を知ることができて良かったです。これからの人生をより良くするためのきっかけを頂きました。

With You さいたまに出会って、多方面から性について考えるようになりました!貴重なキッカケをありがとうございます。

こどもと安心してこられる場所です。ありがとうございます。

女性リーダー育成講座に参加しました。毎回充実した内容で、多くのものを得た気持ちです。これからもWith Youが発展されることを願っています!

講演会等の講師選びは、いつも先駆的ですので素晴らしいと思っています!!これからも期待しています。

With You さいたま バンザイ!これからも男女共同参画の意識を高く活動して参ります!!

様々な立場や年代の方々と出会い、学び合うことができました。今後も利用します!

With You さいたま 開設20周年イベント開催! ~これまでも、これからも、あなたとともに~

去る6月25日(土)にWith You さいたま開設20周年記念イベントを開催しました。このイベントを通じて、With You さいたまのこれまでのあゆみを振り返るとともに、これから目指すべき姿や進むべき道について県民の皆様と一緒に考えました。

大野元裕埼玉県知事からの挨拶後、来賓の方々からお祝いのお言葉をいただきました。



会場には107名の方にお越しいただき、盛況のうちにイベントを終了することができました。

第一部では、ユース×ジェンダープロジェクト@埼玉大学(※)の有志5人が、「誰もが自分らしく生きられる社会へ」と題して、調査研究を通じて得た気づきや思いなどを発表しました。



(※)ユース×ジェンダープロジェクト@埼玉大学

令和3年度、埼玉大学(ダイバーシティ推進室)との共催で「ユース×ジェンダープロジェクト@埼玉大学」を実施し、ダイバーシティやジェンダー平等な社会づくりに関心がある埼玉大学学生11人が、各自で調査研究を進め、その成果を県への提言としてまとめました。

「ユース×ジェンダープロジェクト@埼玉大学」からの提言
<https://www.pref.saitama.lg.jp/withyou/event/report/r3/younggender.html>

発表する埼玉大学生の皆さん(お一人はVTR出演)。埼玉県県民生活部長が進行をつとめました。

第二部では記念講演とトークセッションを開催しました。記念講演では、公益社団法人 日本女子プロサッカーリーグチェアの岡島喜久子さんを講師に、「WEリーグが目指す女性のエンパワーメントとは〜女子スポーツの価値創造とジェンダー平等〜」と題して、オンライン配信によるライブ講演を実施しました。



オンライン配信で講演中の岡島喜久子さん

トークセッションでは、With You さいたまにゆかりの深い5名の方々をお招きし、「With You さいたまのこれから〜20年のあゆみを振り返って〜」をテーマにお話しいただきました。

With You さいたま 開設20周年
~これまでも、これからも、あなたとともに~

ご登壇された方々 (五十音順)

遠藤まめたさん …… 一般社団法人にじーず代表
片倉す寿子さん …… 上里町女性会議初代代表・上里町男女共同参画推進センター初代所長
武田砂鉄さん …… ライター
田代美江子さん …… 埼玉大学副学長(ダイバーシティ推進・キャンパス環境改善担当)、教育学部教授・ダイバーシティ推進センター長
村松綾子さん …… 弁護士